

☆READ 2022☆第2弾



先生方によるおススメ本紹介企画・2022年6月 (原稿回収)高2B室井(原稿入力)高2E 浅井(POP作成)高2A 大津

「寺田寅彦随筆集」

高校教頭・早川公敏

小宮豊隆/編・(株)岩波書店/発行

高名な科学者の随筆を読むと、彼らが例外なく豊かな賞美感覚の持ち主でもあったことがわかります。寺田寅彦もまた、科学的思考と芸術的感性が極めて高い水準で均衡している人でした。彼の語り口は、インターネット世代の皆さんにもきっとマッチするでしょう。



「そらいろのたね」

高校3年 A・B組副担任・地歴 粕谷南

なかがわりえこ/作・おおむらゆりこ/絵・(株)福音館書店/発行

ゆうじは大切な飛行機と、きつねの種を交換する。その種からは青いおうちがでて、どんどん大きくなっていき、様々なお客さんがやってくるように。羨ましくなったきつねは…？自分の大切なものについて考えさせられる名作の絵本です。



「徳川家康」

高校教務部長・数学 山本俊介

山岡荘八/著・(株)講談社/発行

徳川家康の小説です。この中で、家康が今川の人質となる際に、今川義元が家臣に「むごく育てよ」と命じ、その説明として、「華美に装わせ、飽食させ、欲しがるものを与えよ。さらに名将よ、麒麟児よともてはやせば役立たずに育つものよ。」と言い笑います。これを読んだとき、成長には自らを律する気持ちと周りの環境が影響するものなんだと感じました。



「奇跡の大自然図鑑」

高校3年 C・D組副担任・英語 マシュー・ハマスター

スミソニアン協会/監修・DK社/編著

吉田英嗣/日本語版監修・東京書籍(株)/発行

Natural Wonders shows the many amazing places around the world.

I recommend that you check it out and dream big !

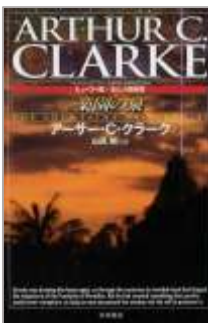


「楽園の泉」

図書部長・技術家庭 吉田純子

アーサー・C・クラーク/著・(株)早川書房/発行

まだ人類の数人しか見ていないであろう宇宙空間から見るオーロラ。命の危機に際し、圧倒的な宇宙の美に孤独も忘れて魅入る主人公。ヴィジュアリスト=未来予測者でもあったクラークの描き出す景色が魅力です。



「怒り」

高校3年E・F組副担任・数学 室井沢耶

吉田修一/著・中央公論新社/発行

殺人事件の容疑者かもしれない3人の身元不明の男とその周囲を取り巻く人間関係の揺らぎを秀逸に表現している。身近な人に疑いの眼を簡単に向けてしまうことの恐ろしさ、人を「信じる」ことの難しさが垣間見える作品です。そして「怒り」の意味を考えてみましょう。



「雲霧仁左衛門」

高校3学年主任補佐・保健体育 中田晴之

池波正太郎/著・(株)新潮社/発行

神出鬼没、変幻自在の怪盗、雲霧仁左衛門。殺さず、犯さず、難儀している者からは奪わずの正統な盗人の三か条を頑なに守るダークヒーロー。矛盾だらけの世の中で盗人なのに何故かその姿に人の心の正義を感じてしまう。対する火付盗賊改方(盗人に正義などない)との攻防も見どころです。



「成功哲学」

高校3年 G・H組副担任・英語 川又高志

ナポレオン・ヒル/著・きこ書房/発行

考えてみると生徒たちに話してきた大切なことの多くが彼の言葉のような気がします。生徒に伝えたいこと「どうすれば成功するか。幸せな人生になるか。」がこの本に詰まっています。幸福感が足りないと感じる時には是非読んでみてください。



「アイヌ文化で読み解く『ゴールデンカムイ』」

高校3学年アドバイザー・理科 吉永裕史

中川裕/著・(株)集英社/発行

物理を教えてくれた先輩のあだ名は機械。九州で生まれ本州で育った私には解らない、北海道に住むアイヌの人々の苦勞を感じたのは、機械先輩に対し「あのひとはアイヌだよなー。」という何気ない北海道出身の同級生の言葉だった。(40年前)本文とは一切関係ありません。



「うなぎのうーちゃんだいぼうけん」

事務職員・岡田茜

くろきまり/文・すがいひでかず/絵

(株)福音館書店/発行

「プレプトセファルス」「レプトセファルス」「クロコ」、この3つは全て、うなぎの子どもの名前です。うなぎの卵が世界で初めて見つかったのは2009年。それまではどこで生まれ、育っていたのかわからない生き物でした。成田の歴史には欠かせない存在、うなぎ。うーちゃんとのだいぼうけん、一緒に学んでみませんか？

